

2班

担当子ども記者

吉村麻那／谷口望優子  
中島 宙／山本璃人

## 初めて見た見た真珠、そして海女 身を守る工夫やおまじないも

○海女さんから話を聞きました。博物館で見た「セーマン」

と「ドーマン」は一筆で書く星型の模様と、たて線5本、横線4本の交わった物で、「セーマン」は無事に帰ってこられるように。ドーマンは神さまが見守ってくれるようにとの願いが込められています。そもそも海女は海に潜り、貝などをとり、海面に戻るといふ漁です。海女の年齢は30〜40代の人もありますが、80代の高齢な海女もいることに驚きました。海女の漁は短く、1回の作業は30〜60分ほどで潜水時間は50秒程度。その間に獲物

を見つけないければならないのはすごい技だと思いました。

海女さんが貝を獲るとき、白い服を着て獲っていました。白い服を着ている理由は、当時サメや色々な魚から見たとき、人が大きく見えるからだそうです。真珠が作られているかどうかは、内側が光っていたら真珠ができていと聞きました。

○真珠はアコヤガイという貝に「核」を入れて4〜5年かけて育てます。その間、世話をするのは海女さんです。しかし、どれだけ頑張っても30%ほどしか良い真珠は取れませ

### 海と日本プロジェクトとは

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人たちが「自分ごと

としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

ん。しかもアコヤガイはとても貴重なので真珠を上手に作るのは難しいそうです。